

【事例検討】 多職種で一緒に考えたい！！(要介護4、自宅で息子さんと暮らす90代の女性への支援)

<検討テーマ>

ずっとこのままの食生活だとどのような栄養面での問題が起きてくるのでしょうか…。
各職種の方が、初めて訪問した際にこの食生活状況をみて、この先どのような問題点が生じてくると思いますか？

◆8つのグループにわかれて、上記検討テーマについて、提示された情報をもとに、各専門職の視点でアセスメントし、リスクや課題について出し合い、解決策を考えました。◆それぞれのグループで出た意見を全体で共有したあと、管理栄養士から訪問栄養指導で実施した内容について報告がありました。



《グループワークで話し合われた内容(一部)》

- ◎検査データからよみとれる身体状況や予後予測
- ◎歯科・口腔からのアセスメントの視点
- ◎家族の思いや介護力からのアプローチの視点 …等



多職種で一緒に考えていきましょう！！

事例検討を通して、専門職の役割や支援方法、食支援における管理栄養士や多職種との連携について理解を深めることが出来ました。

<進行>

パストラールとよさと
安田さん

◆栄養に関する相談窓口

- ①施設入所の方・施設併設の通所施設利用の方
⇒ **施設の管理栄養士**
- ②病院にかかっている方
⇒ **病院の管理栄養士**
- ③診療所やディサービス、訪問看護を受けている方
⇒ **栄養ケアステーション**

お気軽に御相談ください！
機能強化型認定栄養ケアステーション

<湖東圏域>

医療法人恭昭会 彦根中央病院
住所:〒522-0054 彦根市西今町421
電話:27-6504(直通)



依頼/相談のタイミング

- (例えば) ☆食べっぷりはどう？ ☆ばっかり食はない？
- ☆痩せてきたんちゃう？ ☆水分ちゃんととってる？

シームレスな食生活支援をめざして



<話題提供>
彦根中央病院
中原さん



<第61回アンケートより(一部)>

こんなことを思いました



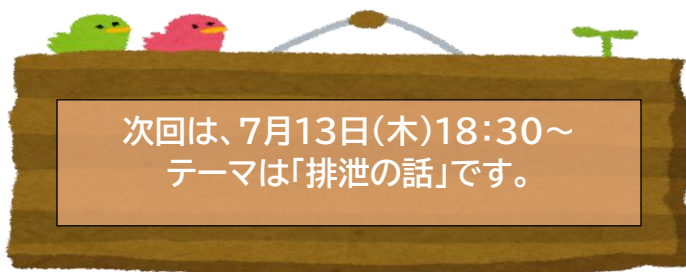
1. 話題提供を聞いて、感じたことなど

管理栄養士	◎情報を共有できるツールがあれば安心です。今後、在宅訪問栄養指導に携われる知識を付けていきたいと思います。ありがとうございました。 ◎他職種の方のいろんな方面からの意見をお聞きすることが出来てよかったです。
作業療法士	在宅高齢者に多い事例だと思います。低栄養の状態の原因には、本人の身体能力や認知機能、口腔機能や衛生状態、嚥下機能、介護者の介護力、生活環境など様々ですが、血液データから読み取れる身体状態を聞いて勉強になりました。栄養士の活動も知れて良かった。
保健師	事例についてもう少し情報が具体的になると良いなと思った反面、その辺りをグループワークでアセスメントの視点として話が出来て良かった。いろいろな職種の話を聞き、様々な角度からの見方ができた。職種の視点での特徴が感じられて面白いなと感じた。
介護支援専門員	◎食と栄養に対する悩みは常にありますが解決の方法に困ることが多く、専門分野ではないだけに時間がかかり、解決できずに悪化することが多いです。今後解決のできる専門家に相談していきたい。 ◎患者背景と検査データからアセスメントする視点が各専門職の方から聞いて大変分かり易かった。 ◎事例があって内容が分かり易くなった。
歯科医師	症例を提供して、チームで検討。実際の対応を説明という流れがわかりやすかった。

2. 研究会に対するご意見など

管理栄養士	今まで数回しか出席出来てないですが、このような場があることを心強く思います。
作業療法士	普段関わる業務外の事を知ったり、多職種の意見や活動を聞いて勉強になります。
歯科医師	初期の頃より、互いの専門性を理解し合おうという会議になっていると感じています。

ご意見、ご感想ありがとうございました。



ホームページ「在宅医療福祉情報の森」で次回研究会の情報・過去の開催内容をご覧ください。

在宅医療福祉情報の森



で検索。



【研究会に関するお問い合わせ】 ことう地域チームケア研究会事務局

- ◆ 一社)彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455 E-mail: info@gen-ai-ken-kaigo.jp)
- ◆ 彦根市高齢福祉推進課 (TEL 24-0828)